

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 クラウド活用でアイデアを可視化 生徒主体の校外学習へ

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実



校外学習の各活動で情報共有を速やかに

Point

生徒のアイデアを可視化！主体的な活動を促進



班長会議は Google フォーム™ で

「こんなときどうする？」という議題に対して、各班長の意見をフォームで集約。各班長は同意する意見を選び、フォントを大きくして表現。多数意見が視覚的にわかりやすくなり、協議進行のヒントに。

班長会議	議題	結果
1組 1班	家が近い人と一緒に来てもらう	班長が常に全員いるか確認して行動する
1組 2班	誰かと来てもらう	声かけ
1組 3班	前日の呼びかけ、誰かと一緒にいってもらう	常に班の人数の確認をする
1組 4班	前日にしっかりと集合の五分前あたりには着くように伝える	全員でできないようには行動し、歩くペースでもできるだけ速い子に合わせる
1組 5班	余裕を持った集合時間にする	ばらばらで帰るときも誰か二人以上でまわってもらう
1組 6班	早めに集合する	定期的に班員の人数を確認する
2組 1班	遅れに行く	班長が一歩速い子についていく
2組 2班	遅刻しそうな人はだれかと一緒にきてもらう	班長が常に班員を確認しながら行動する



各係からの報告は Google スライド™ で

訪問先でのマナーや事前学習でわかった見学のポイントをスライドにまとめ、Google ドライブ™ で共有。さらに、印刷したスライドを廊下などに掲示し、ポスターとしても活用。

1組 (地図係) Google スライド	2組 (地図係) Google スライド
3組 (地図係) Google スライド	4組 (地図係) Google スライド
1組 (保健・美化係) Google スライド	2組 (保健・美化係) Google スライド
3組 (保健・美化係) Google スライド	4組 (保健・美化係) Google スライド



振り返りとして動画制作

訪問先で撮影した写真はクラウドで共有し、班で共同編集しながら動画を作成。保護者に伝える活動を行う。



① フォームやスライドを使うことで生徒一人一人のアイデアが可視化され、リアルタイムに共有することができる。

② 相互参照や共同編集を通して生徒同士の対話が生まれ、アイデアがブラッシュアップ。主体的な活動へとつながる。

生徒の反応



これまでは班長会議で話し合ったことを詳細にメモしなければなりませんでした。今は、みんなの発言がデータを確認するだけでわかるので便利だと思いました。



友だちと話し合いながら共同編集をするので、一人で考えるよりもたくさんのアイデアが思い浮かんできました。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 小学校6年間＋中学校3年間を見通した情報活用能力の育成（小中連携）

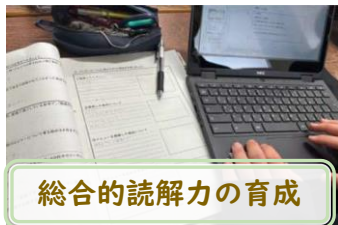
②情報活用能力の育成

小中9年間を見通した
西淀中学校の到達目標

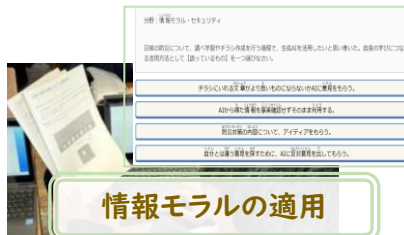
小学校の達成状況をもとに、次の3つを中学卒業までの達成目標としました。

- ★1 情報リテラシーの醸成
- ★2 目的に応じた情報の精選・発信
- ★3 タイピング100文字/分

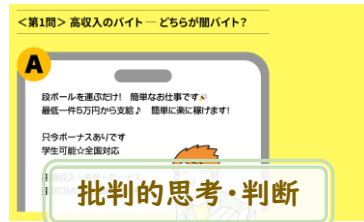
総合的読解力の育成



情報モラルの適用



批判的思考・判断



特殊詐欺加害防止 特設サイト | 東京都

タイピング速度調査

ランクの基準				
成績表				
得点	27151 点	ランク	A	
1分間あたりの入力文字数	101 文字/分	順位	0 文字/分	
時間	1 分			
正タイプ率	99 %	順位	0 %	

情報の取捨選択



プレゼン作成・発表



小学校

中学校

6年生

1年生

2年生

3年生

小6「メディア・リテラシー」

SNSや生成AIから得ることのできる情報の妥当性を考え、複数の情報源に当たり、批判的にメディアに接する姿勢を学ぶ。

目次

- 1 生成AIってなんだろう？（復習）
- 2 生成AIの問題点
- 3 上手に使ってみよう
～その回答、信頼できる？～
- 4 ふりかえり

中1「スマホの伝わり方」

SNS等との付き合い方を題材として、スマホの使い方、画面による伝わり方を考える。



中2「調べ学習」

インターネット上にある様々な情報の信頼性や妥当性を見極め、根拠資料として活用する。



中3「プレゼン発表会」

各クラス、班ごとにプレゼンを作成し、各クラスの上位が学年全体の前で発表する。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 Google Classroom で授業の振り返りと家庭学習とをつなぐ

③B 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

Google Classroom で授業の振り返り

- ① 授業の流れや学習内容を Google Classroom に投稿することで、いつでもどこでも授業の振り返りができる。
また、欠席者も学習の進捗状況を確認できる。
- ② Google フォーム™ の適用問題をもとに、生徒も指導者も学習内容の理解度を把握し自己調整や授業改善に。

生徒の反応



Google Classroomに様々な資料があるので、家庭でも授業中と同じような環境で学べるのがよいです。フォームに回答すると、解説も見ることができるので、とても便利です。

長期休業中の課題も端末で

長期休業中の課題も、同様に取り組むことができる。

冬休みの課題

令和元年チャレンジテスト	最終編集: 2024/12/23
令和2年チャレンジテスト	投稿日: 2024/12/19
令和3年チャレンジ	投稿日: 2024/12/13
令和4年チャレンジ	最終編集: 2024/12/11
令和5年チャレンジテスト	最終編集: 2024/12/10

質問 回答 1

夏休み №3 律令国家の成立

フォームの説明

クラスを選んでください。*

☐ 1組

☐ 2組

☐ 3組

☐ 4組



家庭学習で理解度を把握し、授業改善へ

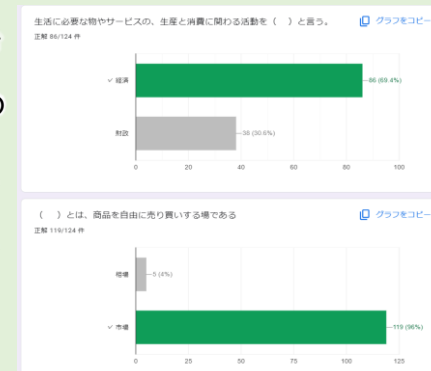
1 学習内容を振り返り

家庭学習として授業の振り返りを行う際は、Google Classroomを確認。本時の学習内容はいつでも何度でも自分のペースで振り返ることができる。



2 授業の適用問題にチャレンジ

学習内容の定着を確認するための適用問題としてフォームに回答。自動採点、繰り返し回答できるように設定しておくことで、生徒自らその授業の内容を、どの程度理解できたかを確認することができる。



3 回答を分析し、授業改善

フォームの回答を集計・分析し、生徒の理解状況を、次時の授業の導入時に提示することで、学習の目的意識を明確にする。さらに指導者も授業内容の改善を図ることができる。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 動静表を共同編集 ～校務の効率化を実現するクラウド活用～

④ 校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）

共同編集機能で簡単作成 → 校務DX

 Google スプレッドシート™ を活用し、全教職員が1人1シートに出勤予定を入力。リンクで全教職員の一覧表が自動作成される。

 作成したスプレッドシートは全教職員が所属する Google Classroom にアップロードして、相互参照が可能に。研修の予定等スケジュール調整が容易になる。

教職員の反応



出勤情報の変更が“いつでも・どこからでも”できるので、すごく便利です。

教職員の反応



他の先生方全員の出勤情報を端末から確認できるので、日程調整が楽になりました。

 スプレッドシートの活用で、楽々動静表作成♪

1 教職員一人一人が自分の出勤予定を入力

午前、午後の色がついているところに情報を入力する。
（プルダウンで選択できるように。）

2	名前			
日付	行事予定	AM	PM	業務内容
12月23日（月）	終業式	出勤	出勤	
12月24日（火）		出勤	出勤	
12月25日（水）		出勤	出勤	
12月26日（木）	開庁日	年休	年休	
12月27日（金）	開庁日	年休	年休	

2 全教職員の出勤情報が一覧で完成♪

		12月23日（月）	12月24日（火）	12月25日（水）	12月26日（木）	12月27日（金）	12月28日（土）		
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
1		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休
2		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休
3		出勤	出勤	4 h 休	出張	年休	年休	年休	年休
4		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休
5		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休
6		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休
7		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休
8		出勤	出勤	出張	出張	出勤	年休	年休	年休

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 職員会議の資料を共同作成

④ 校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）



会議資料は Google Classroom に ～ペーパーレスの実現 & 共同編集で働き方改革～

R6職員会議

12月職員会議

最終編集: 12

2024-教頭連絡1209.pdf
PDF12月職員会議.pdf
PDFサービスだより（45号）...
PDF人事評価制度今後のスケ...
PDF

資料を表示

11月職員会議

最終編集: 11月18日

10月職員会議

最終編集: 10月17日

9月職員会議

最終編集: 9月6日

7月職員会議

最終編集: 7月8日



会議資料はPDFで一本化します。共同編集したいデータは、リンクをつけておくことが重要です。また、目次にリンクをつけておくことで、目的のページをすぐに表示することができます。



周知資料もデータで共有します。教職員は自分のタイミングで閲覧可能になり、「読んでおいてください」で、会議時間の短縮につながります。



重要な内容や繰り返しアクセスする必要がある内容は、あえて個別に添付します。

教職員の反応



過去のデータもすぐに閲覧できるので便利です。これまで資料の印刷にかけていた時間もなくなり、資料作成の期限にも余裕ができました。



共同編集できるから、役割分担やスケジュール調整がスムーズに行えるようになりました。会議時間も短くなり、その分教材研究ができます。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 教職員も他者参照 Google Classroom の各教科のクラスに全員を招待

④ 校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）

全教職員を Google Classroom へ招待

校内のICT活用を広める取組の一環として、教職員も他者参照をする仕組みをつくった。

すでに、それぞれの教科でクラスを作成、運用されていたので、教職員研修の際に招待リンクを共有するよう呼びかけた。

様々な教科の工夫を参考にとともに、他者参照のよさを教員が実感することで授業への転用につながった。



教職員の反応



〇〇先生のクラスを覗いてみると、子どもたちの学びの過程がよくわかるようになっていました。授業準備の参考にしようと思います。



それぞれの教科が出している課題の量や期限がわかるので大変便利です。子どもに負担がかかりすぎないように、教職員同士のコミュニケーションが活性化しました。



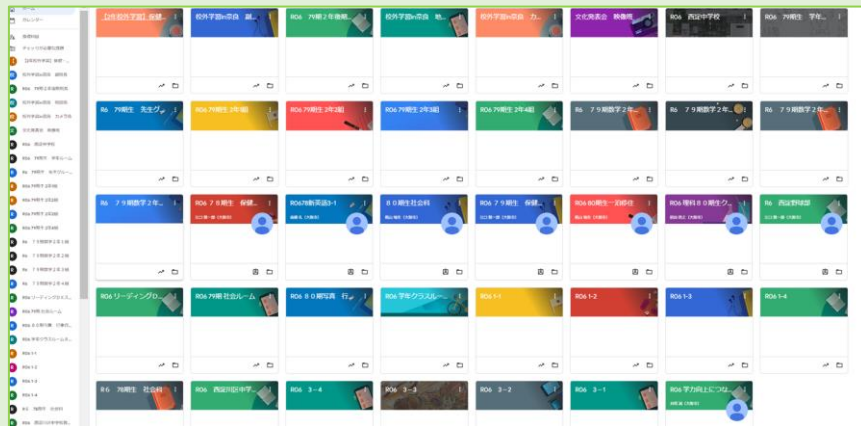
教職員も他者参照のよさを実感

1 Google チャット™ でクラスに招待

クラスへの招待リンクを、教職員全員が参加しているチャットへ投稿



2 あらゆる教科のクラスが参照可能に



リーディングDXスクール事業【GIGA×情活能力】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×情活能力】「情報収集→整理・分析→まとめ・表現」の過程で育成する情報活用能力

<考察>

学習者用端末を利用することで、より多くの情報を集めることができます。その集めた情報を整理・分析しながら、まとめ・表現につなげていきます。**収集した情報の真偽を見極めたり、目的に応じて情報を整理・分析したり、著作権や引用元の明記を意識して表現したりするなどの情報活用能力を育成することを大切にしました。**

<事例①>

パラリンピックキャラバンの取組では、パラリンピックをめざして活動している講師の方との交流に向けて、その方の実績やユニバーサルデザインの取組について情報を精査しながら調べていました。講師の方が来校されたときに**ぜひ聞きたいことや伝えたいことをスライドにまとめることで、各々が相手意識を持って表現**することができました。

<事例②>

文化発表会では、ビデオ演劇に挑戦しました。生成AIを利用※して個々のイメージに合った背景を作成し、音源を入れたり、撮影した動画とつなぎ合わせたりして、一つの作品を作り上げていました。**画像生成には適切なプロンプトが必要だということを体験を通して学んでいる様子が見えました。**

※教員による代理入力

学習の過程で育成した情報活用能力

異なる視点からの発表を聞くことで、生徒の学びが広がりました。



廊下に作品を掲示しておくことで、新たな学習内容や表現方法に気付く生徒もいました。



2年「パラリンピックキャラバン」



各テーマを深く調べて共有する

～より深い事前学習へ～

- ① 講師の方についてインターネット検索。
- ② 情報を整理・分類し、聞きたいことや伝えたいことを焦点化する。
- ③ スライドにまとめる。



多くの情報が得られるからこそ、情報を見極めたり精選したりする力が必要だと感じます。

2年「ビデオ演劇」



制作した作品を動画に編集

～ビデオ演劇を完成させるために～

- ① 生成AIを利用して背景を作成
- ② 音源を入れたり動画をつなげたりする
- ③ それぞれ分担したものを共有し、作品を完成させる。



自分のイメージに合った画像を生成するためには、プロンプトを工夫することが大切だと気づきました。

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】本時の学習状況・改善点をGoogleフォームで提出・共有→次回の授業につなげる

<考察>

保健体育科の授業では、フォームで個々の課題について気を付けたこと等を振り返らせるようにしています。プリントで振り返らせるより、生徒一人一人の状況を瞬時に把握することができ、まとめの時間を短縮することができました。

また、スプレッドシートを活用することで、各々の課題や振り返りが生徒同士で参照できることも大きなメリットとなります。他者参照をする中で、課題を克服した生徒が、過去の自分と同じ悩みを抱えている友だちへ積極的にアドバイスする姿が見られました。また、生徒同士で、動画の撮影も行っていたので、課題を克服するための視点を持って、相手に声をかける生徒もいました。

動きのイメージが想像できない場合や技のポイントを知りたい生徒は、クラウド上の見本動画を確認することができます。個々の課題を克服するために、友だちからアドバイスをもらったり、見本動画を確認するなど、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させながら技を体得しようとする子どもの姿が見られました。

2年 保健体育科「とび箱運動」



自分の状況を知る・友だちの情報を知る→振り返り→次回へ

1 授業の振り返り

① 跳び箱のふりかえり①

ここに授業後記入してください。

跳び箱ふりかえり① (11月...
Google フォーム

振り返りはフォームに入力する。スプレッドシートから他者参照ができる。

2 他者参照

スプレッドシートで友だちの気づきや達成状況、目標を確認する。

◎練習内容・・・技の名	★ふりかえり・・・できるよくなったこと、次回への課題を記入してください。
開脚跳び、抱え飛び跳び	3段とべるようになりたい 4段は飛べたので5段にチャレンジしたい
開脚跳び	
開脚トビ	足を閉じる癖があるので次は離さないようにしたいです
開脚跳び、かかえ込み跳び	
開脚跳び、抱え込み跳び	開脚跳びがもう少し少なくて飛べたので次は飛べるように頑張る
開脚跳び、抱え込み跳び	3段は飛べたので次は4段が目標です！
開脚跳び	飛べる段数が増えた。きれいに飛べるようになる
開脚とび、かかえとび	前は飛べなかった段が飛べるようになった。こわくてうまく踏み切れてなかった
開脚とび	2段とべなかった

友だちの頑張りをみることで、自分の新たな目標にもなる。また、友だちの振り返りから新たな着眼点を発見することにもつながる。

3 個々の目標に応じて動画を視聴

跳び箱

- 開脚跳びのポイント
 - 開脚跳びのできないポイント
 - かかえ込み跳びのポイント
 - 台上前転のポイント
 - 台上前転のできないポイント
- 自分の課題に合わせて、動画を参考にしてください。

開脚跳び
動画開脚跳びのできないポイント
動画かかえ込み跳び
動画台上前転
動画台上前転 できないポイント
動画

生徒の振り返りから、どういったところに注目すれば技ができるようになるか、指導のポイントを把握し、状況に応じて動画を追加する。

1回の授業で、全員の課題を見つけることは難しいですが、クラウドを活用すると瞬時に確認できるよさがあります。



課題を克服した友だちからアドバイスをもらったら、跳ぶことができました。



リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×中・数学科】リアルタイムに他者参照ができる環境を整え、無解答率の減少へ

<考察>

数学科の無解答率を減らすためには、**授業の流れを可視化**すること、**既習内容を定着**させること、**繰り返し取り組む**ことがポイントだと考えています。

まずは、**Google Classroomでフォームやスライドを共有し、本時の流れの見通しを持てる**ようにします。そうすることで、欠席者も確認できるといったメリットもあります。

授業前には、**三角形の合同条件などをフォームで回答させることで既習内容の習熟度を生徒自身も指導者も把握**することができます。

授業では、**学習者用デジタル教科書も併用しながら理解を深められる**ようにします。その際に、**Google Classroomのストリームを利用して質問、回答ができるようにし、学びを止めない**ようにしています。

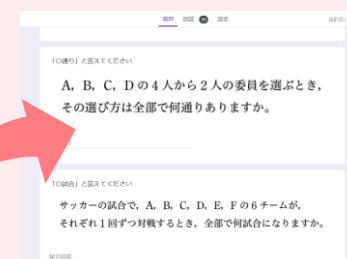
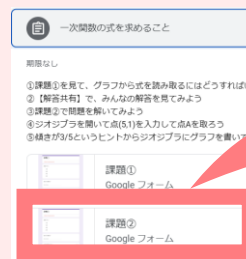
学習内容を定着させるために、**演習問題を解き、その解答が正解か不正解かをその場ですぐに自動採点されるようにすることで、計算間違いや理解不足に生徒自身も指導者も気づける**ようにします。

演習問題のフォームをルーティーン化



正解するまで何度でも、その場でやり直せる授業へ

数学科では、既習内容の定着が無回答率減少のポイントになります。そこで、既習内容の確認にフォームを活用することで、瞬時に採点され、生徒自身が苦手とする内容に何度でも取り組むことができます。さらに振り返りの場面では、本時の内容の適用問題に取り組み、定着を図ります。



2年 数学科「図形の性質と証明」

※詳細次頁

生徒は自分の出席番号のスライドに、解答を入力します。指導者は内容を確認して達成状況を色分けしていくことで、相互参照するスライドのめやすを可視化します。



友だちの解答を参考にすることで、自分の解答の書き方がわかりました。

2年 数学科「図形の調べ方」

スライドを共有することで、様々な解決方法に触れることができます。自他の解法を比較したり関連付けたりすることで、生徒の学びが深まります。



自分の解法を紹介してもらって嬉しかったです。友だちの解法も知れて視野が広がりました。

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【GIGA×中・数学科】クラウド環境を基盤に自立した学びへ

<考察>

数学科では、生徒数分のスライドを複製し、自分の出席番号＝スライド番号をワークシートとして活用しています。

自力解決が終わったら背景色を灰色に変更する、といったルールを決めておくことで、指導者が進捗状況をリアルタイムに把握できるとともに、瞬時にチェックできるようにしました。指導者は、証明の根拠が的確に示されているかどうかをもとに、段階的に色分けして採点します。生徒はスライドの背景色をもとに他者参照して友だちの考えを参考にすることができるので、図形の性質を根拠に、より簡潔・明瞭・的確な証明へと高めていくことができました。

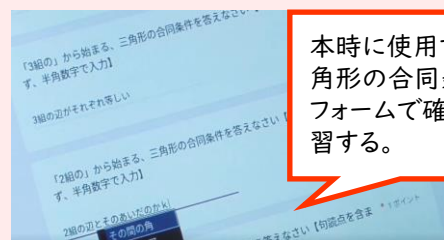
Google Classroom には、各時間の学習内容が事前共有されているので、生徒は自分の進捗状況に応じて次々と課題に取り組むことができます。生徒は採点結果に応じて、他者参照をしたり、友だちに声をかけたりと、自分に合った学び方を選択しながら進めることができました。また、個々の進捗状況に合わせて、次の課題へ進められるようにすることで、自己調整しながら学びを進める自立した学習者の育成につながりました。

2年 数学科「図形の性質と証明（四角形）」



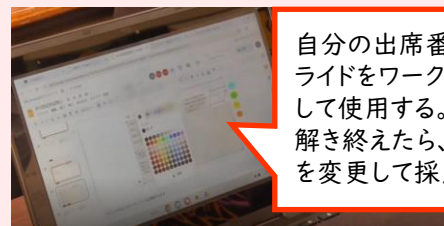
定義をもとに証明の根拠となる性質について考える

1 既習内容の振り返り



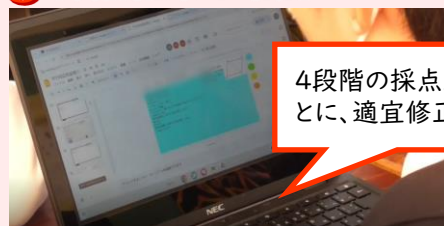
本時に使用する三角形の合同条件をフォームで確認、復習する。

2 他者参照しながら自力解決



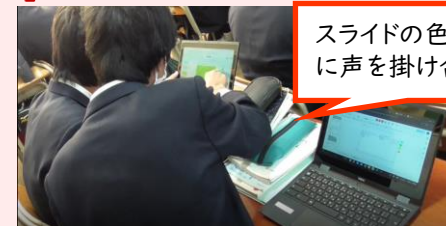
自分の出席番号のスライドをワークシートとして使用する。問題を解き終わったら、背景色を変更して採点を待つ。

3 採点結果を確認



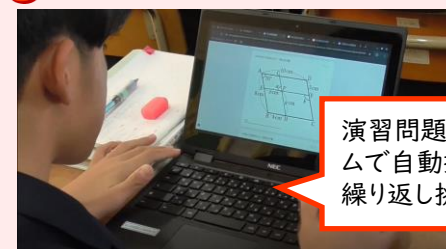
4段階の採点結果をもとに、適宜修正する。

4 他者参照をもとに話し合い



スライドの色を参考に声を掛け合う。

5 演習問題に挑戦



演習問題は、フォームで自動採点される。繰り返し挑戦できる。

次の課題がわかるので、どんどん取り組みます

